

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

Kokolab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 106  
2023.December

完成現場報告 掛川市 / 『出の家』

新しい暮らしに合わせた  
開放的で心和む住まい。

# 新しい暮らしに合わせた 開放的で心和む住まい。

2階ホールより吹き抜けを見る。ダイニング上部は2階天井までの大きな吹き抜けとなっている。縦に伸びるガラス越しに中庭が見え、季節の変化を楽しませてくれる。藤の木の元気がよく、新しくつくった藤棚を越えて庇まで…。その感じがまたいいのですが。



## 完成現場報告

### 掛川市／『出の家』

文・写真／ココラボ 山崎健治

昨年の夏、掛川城の見える小高い場所に、Sさんご家族の住まいが完成しました。今回のSさんご家族との家づくりは、様々な「繋がり」を強く感じる出来事がありました。Sさんは、当社で発行しているココラボ通信を菊川市のお店で見て、木の家の雰囲気や木に入られ連絡をいただきました。まずは木の家の展示場をご覧くださいながら色々とお話をさせていただきましたが、Sさんのお名前に懐かしさを感じた私が高校生時代の昔話をさせていただきました。私の高校時代のクラブの先生も同じS先生で、色々とお世話になった事や、クラブで一度だけ旅行に行った事などを話したところ、その話、昔父から聞いた事がありますと…。偶然にもSさんは先生の娘さんで、共通の友人も何人もいる事に驚きました。展示場の見学後、昔話もさせていただきとても楽しい思いをした事を今も覚えています。Sさんご夫婦は元々東京で暮らしていました

が、実家の状況が変わり、急遽お母さんとの同居がスタートしました。ご両親の建てた家に数年暮らしていましたが、老朽化が進んでいた事、下水道の工事が予定され、下水に合わせた配管の工事を行わなくてはいけなくなった事などが重なり、思い切った建て替えを決断したと伺いました。Sさんのお宅は小高い場所に建てっており、敷地と道路に高低差があり、また、道路も東西で少し坂になっていました。駐車場やアプローチの位置、現在のお庭や井戸を残しての計画など、様々な制約の中でプランを考えていきました。お庭はご両親が育ててきた木が残り、中でも藤の木が建物近くまで伸びていました。この藤の木をそのまま活かして計画したいという希望も強く、ならば、家の中なら一番綺麗に見えるように窓の配置を計画していこうと思えました。最終的には大きな吹き抜けを設け、縦に伸びるガラス面をつくりました。ダイニングのある1階はもちろん、2階のホールからもお庭を眺める事が出来、四季を通じて変化を楽しめる空間をつくる事ができました。藤の木は工事にあたり少し切らせていただきましたが、新しい藤棚に沿って、一年でどんどん伸びてきているようです。今年の春はまだ花は少なかったようですが、来年の春はきつと多くの花を垂らしてくれるか、私を楽しみにしたいと思います。



天井を一段下げて、落ち着いたあるソファコーナーを設けた。天井は木毛セメント板+木ルーバーとし、意匠だけでなく、テレビの音や会話などの吸音効果を期待している。ソファはL型に配置し、ゆったりとした広さを確保した。本棚やソファ下の引き出しも設け、収納も充実している。



吹き抜けのあるダイニングは、アイランドカウンターのあるキッチンとオープンに繋がっている。ステンレス製のカウンターは調理の作業台として活躍し、汚れてもサッと拭けば綺麗になるのでありがたい。カウンターの下部はキッチン側とダイニング側から使える収納になっている。食器や日用品などたっぷり収納出来る。

## 光に満ち、風が通り抜ける 開放的なダイニング

家の中心的な空間は、吹き抜けのあるダイニング。大きなガラス窓が上下に繋がり、光や風を取り込み、お庭も眺められる特等席です。窓はコロボ定番の木のガラス窓+FIX窓。細部の納まりや鍵などの金物の選択、窓際のスクリーン（ハニカムサーモスクリーン）についても窓とセットで提案しています。窓の外にはウッドデッキを設け、ダイニングと繋がった半屋外空間となっています。ダイニングはアイランドカウンターのオープンキッチンと繋がり、日々の家事動線や収納もSさんご夫婦の生活に合わせて細かく計画しました。タイルやアイアン小物なども、Sさんらしい色調で統一し、空間を引き立ててくれています。今回1階の床に選んだのは山桜です。山桜は広葉樹の中でも硬く、傷が付きにくく艶があります。栗と悩まれる方も多いですが、栗に比べて赤味があり、一枚一枚に色ムラがあるのが特長です。コロボのお客さんを見ていると、キャンプやアウトドア好きの方は山桜を選ぶ傾向があり、北欧インテリヤやインドア派の方は、栗を選ぶ傾向があるのかな？と勝手に分析しています。今回山桜を選んだSさんは、サーフィンをよくよく愛すバリバリのアウトドア派。納得の選択です。

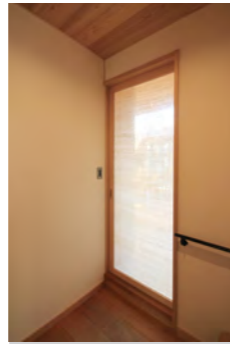
## 優しい光に包まれた、 落ち着いたある ソファコーナー

明るく開放的なダイニング空間に比べ、落ち着いたある空間を演出したソファコーナー。L型の大きな造り付けソファを主役に置き、本棚や飾り棚、壁掛けテレビなどを配置した空間となりました。造り付けソファも徐々にコロボの定番となり、制作回数を重ねる度に精度を高め、ウレタン hardness やステッチの入れ方、背もたれの角度や座面の大きさなども提案出来るようになりました。人気はやはりハイバックのソファで、Sさんも展示場のソファで首の位置を確認しながら高さを決定していきました。落ち着いたある空間をつくる場合、忘れてはいけないのが音の問題です。木の壁や天井は反響することが多く、そのままではテレビの音や話し声が気になることもあります。Sさんのお宅では、天井面に木毛セメント板を貼り、木のルーバーを用いることで音を吸音しています。開放的な吹き抜けと静かなソファコーナー。ひと繋がり空間でありながら全く違った感覚が味わえ、それぞれの気分や時間の使い方に合わせて居場所を選ぶことができる空間です。



**玄関ポーチ** アイアン手摺や船舶照明、玄関取手や照明までブラックで統一し、Sさんの個性が感じられる玄関ポーチ。外壁はコロボ定番の左官屋オリジナル掻き落とし仕上げ。

**葛布ガラス** コロボ定番の葛布ガラス。ガラスとガラスの間に挟んだ葛布を建具の中に入れている。葛布は掛川市の伝統工芸品。葛布を製作をお願いしているお店もSさんのお宅からとても近い。



**脱衣室** 木の内装の脱衣室。水周りは積極的に木を使い、木の特性を生かした仕上げとしている。



**浴室** 浴室はサーモタイルと青森ヒバのコロボ定番スタイル。青森ヒバの香りが良く毎日癒される浴室。Sさんは朝風呂派とか。



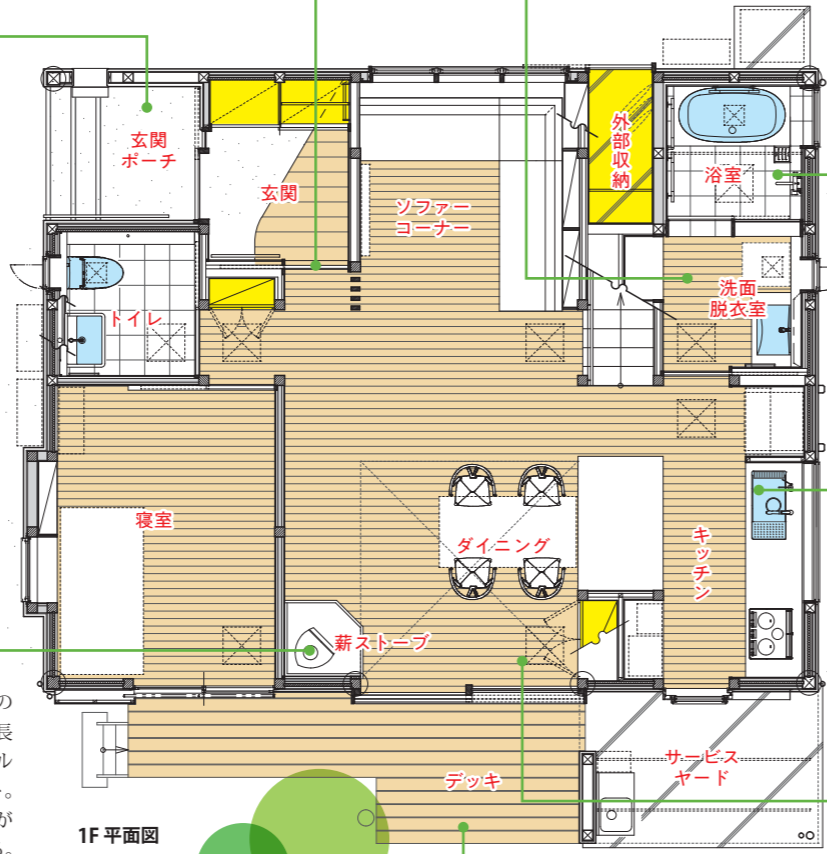
**外観** 北道路からの外観。ガルバリウム鋼板と左官壁のツートンスタイル。2階の窓に横格子を設置し、目隠しと意匠を兼ねている。



**デッキ・パーゴラ(藤棚)** ダイニングと中庭との間に設けたデッキスペース。新しくつくったパーゴラ(藤棚)の効果もあり、とても気持ちのよい空間になっている。



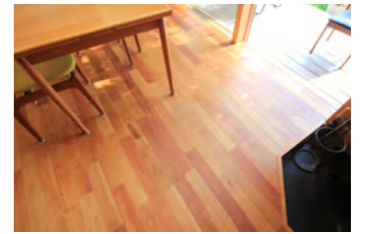
**薪ストーブ** ダイニングのコーナーに配置した縦長の薪ストーブは、ヨツールのF162ブラックペイント。コンパクトだがガラス面が大きく、炎が綺麗に見える。



1F 平面図



**キッチン** アイランドカウンターを中心としたオープンキッチン。窓の位置や飾り棚の配置、タイルの選択で雰囲気はガラッと変わり、住まい手の個性が現れる。



**床板** 1階の床板は山桜を選んだ。赤味のある色や一枚一枚に個性のある色むらが良い、重厚感のある雰囲気をつくっている。

2階はプライベートな部屋を配置しました。ご夫婦の寝室とクローゼット。奥さんの仕事部屋となるワークルーム。また来客や妹家族が泊まるゲストルームなど、それぞれにゆとりのある広さを確保しています。2階の中央には吹き抜けに続くスタディーラームを設けました。机を置いて趣味部屋に...と考えていましたが、現在は多目的に使われるホールとなり、逆にこのスペースがあつて良かったと話していました。ホールには小屋裏収納に繋がる階段があります。アイアンで製作したデザイン性のある階段としました。小屋裏収納も広く確保し、ご両親の思い出の品や季節的なものなどの収納として、とても役立っているようです。

2階はプライベートな部屋を配置しました。現在は外流しと水撒き用に電動ポンプで動くようにしていますが、数年前に掛川市で断水が数日間続いたことがあり、近所の方の助けにもなったとの事で、今後の防災対策のためにも手押しポンプを残していきたいと希望がありました。以前は和室と縁側があつた場所にお母さんの部屋を配置しました。2階への上り下りも問題なく移動していたお母さんですが、やはり今後の事を考えて1階に設置する事になりました。部屋の近くには1坪のトイレを配置しました。将来的な介助も視野に入れ、誰もが使いやすく無理のない計画としました。

今回は様々な条件の中で建物配置を決め、無理と無駄の少ない計画を心掛けました。道路と敷地の高低差や道路の勾配、既存のお庭をそのまま残す条件の中で、駐車場とアプローチの関係を検討し、植栽の位置を現地調査しながら間取りなどを考えていきました。元々のお宅も南側に3室並び、お庭が見える配置でしたが、キッチンが奥まり薄暗く、2階にお母さんの部屋があるため階段の上がり下がり少し心配という問題点もありました。新しい計画では、家の中心にみんなが集まるダイニングとソファァーコーナーを設置し、ダイニングと繋がる作業台のあるキッチンを設置しました。お庭の景色も取り込んで、明るく心地よいパブリックな空間になりました。またダイニングの一角には、コンパクトな縦長スタイルの新ストーブを設置しました。薪ストーブコーナーを一段下げているのがSさんのこだわり。灰などの汚れが部屋に広がらない工夫と、少し落ち着き感のある雰囲気を出しています。キッチンの流れで脱衣室と浴室を縦に配置し、キッチンを通り抜けて洗濯物干し場やゴミ置き場などのサービスヤードを設けました。サービスヤードの近くには、以前からあつた井戸の手押しポンプも再利用しました。現在は外流しと水撒き用に電動ポンプで動くようにしていますが、数年前に掛川市で断水が数日間続いたことがあり、近所の方の助けにもなったとの事で、今後の防災対策のためにも手押しポンプを残していきたいと希望がありました。以前は和室と縁側があつた場所にお母さんの部屋を配置しました。2階への上り下りも問題なく移動していたお母さんですが、やはり今後の事を考えて1階に設置する事になりました。部屋の近くには1坪のトイレを配置しました。将来的な介助も視野に入れ、誰もが使いやすく無理のない計画としました。

旧住まいの利点を引き継ぎ、新しい暮らしに合わせた間取り



キッチンよりダイニングを見る。木と漆喰のスタンダードな内装だが、良質な素材を選択するとずっと綺麗に保つことが出来る。今後の木の色の変化も楽しみにしている。

家が完成し暮らし始めて1年半、少しずつ木の家の生活にも慣れ、それぞれの家時間を楽しんでいると聞き、嬉しく思います。在宅ワークの多い奥さんは1日中家に居る事も多く、特に家の存在が大きくなっていると思います。現代の住宅は断熱性や気密性など、高性能な家は多くありますが、ずっとその家に居たいと思う住まいは、光や風が入り、季節に応じて適度な変化が感じられる住まいではないでしょうか。窓から見える庭の様子や空の変化、心地よい日は窓を全開にして過ごしたり、肌寒い日は薪ストーブに火を入れて、暖かさと一緒に炎の揺らめきを楽しむ。家族や友人とキッチンを囲みながらワイワイと楽しんだり、時には一人になってゆっくりと読書や映画を楽しむ。便利さや効率を求める事も大切ですが、今回のSさんの住まいのような、その時々の変化を受け入れ、それらを逆に楽しみに変える事が出来れば、住まいに求められる大切な部分も変わってくると思えました。Sさんご夫婦の出会いについて伺った事があります。海外に放浪の旅に出た奥さんは、その土地で出会った人や文化など、様々な経験が楽しく、気が付いてみれば2年以上の月日を過ごしていたと伺いました。その中で立ち寄ったスペインで偶然出会ったのがご主人だと。ご主人も学生時代からのスペイン生活が長く、様々な経験が今の価値観につながっていると思いま

仕様内容	
家族構成	家族3人
敷地面積	217.24㎡
建築面積	71.22㎡
延べ床面積	121.72㎡
構法	落とし込み板壁構法
屋根	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板角波タテ貼・マサ土掻き落とし仕上げ
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、桧(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚12mm
壁	青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm
床	落とし板現し、杉本実板、漆喰塗
内部建具	杉本実板・青森ヒバFJ本実板 木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスヘアライン天板 オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル洗面化粧台
浴室	オリジナル浴室 (壁・天井：青森ヒバFJ、床：サーモタイル)
竣工	令和4年8月

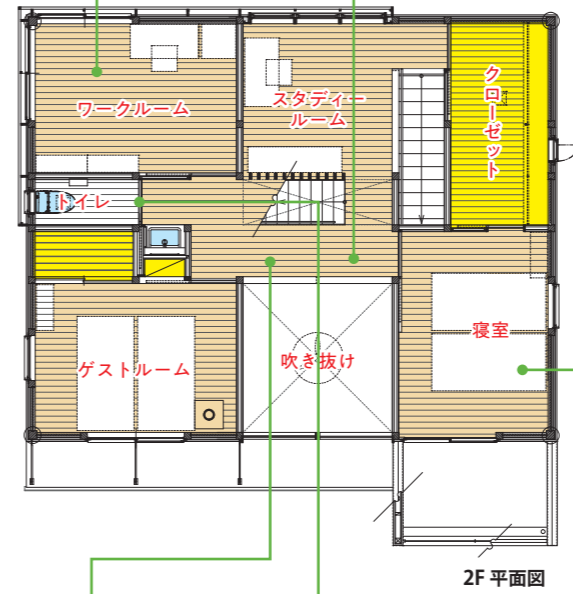
した。お二人共とても気さくで明るく、私も話をしているだけで楽しい気持ちになります。流れる時間の楽しみ方、自分の個性や考え方を大切にしている姿など、今回の家づくりを通して私も強く惹きつけられました。『出の家』はコロラボの家づくりの記念すべき100棟目。今までの経験を生かしたいと思えます。



ワークルーム 奥さんの仕事場となるワークルーム。ピンクの壁はメキシコの思い出の壁色。明るく楽しい奥さんの個性が出ている。



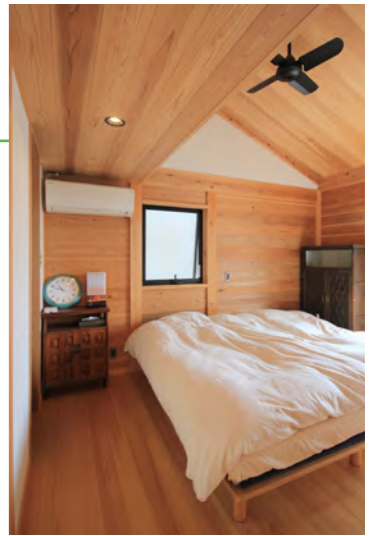
吹き抜け ホールから吹き抜けの窓を見る。2階からも中庭の緑が見え、明るく開放感のある空間となっている。



小屋裏収納 2階ホールの上部に設けた小屋裏収納。高さは低いが横に長く収納量は思った以上に大きい。



洗面+トイレ 2階の洗面とトイレ。洗面ボウルや鏡、タオル掛けなどの一つ一つを選びながら決めている。



寝室 寝室は勾配天井とフラット天井のコンビ。プライベートな部屋だが、ちょっとした変化が楽しく見える。寝室にも天井ファンを設け、エアコンだけに頼らず送風の心地よさを取り入れている。

# 私の好きな 愛い道具たち



## うつわ暮らしの道具テクラ 店主 宮入由起



静岡市葵区で中仕事の商品をみなさまにお届けするお店と管轄です。主人と2人の娘の4人暮らし。夢は旅をしたから旅日記を出版すること。仕事も暮らしも染みガエト。

みなさん、二人にちは。テクラの宮入由起です。  
今回は、長野県松本市にて松本箒を作られて  
いる「米澤ほうき工房」さんのご紹介させて頂きます。  
かつては100軒ほどあった産地ですが、現在は  
1軒のみ、2代目ご両親、3代目の米澤 貴修さんの3人で



米澤家の目元(住居地)に  
左が火田、1年に2回収穫  
です。



大きくなり2mほど成長した  
木ウキモロコシ

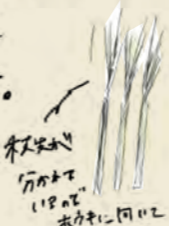
材料となる木ウキモロコシを

自分たちで火田で育て、箒作りを土わています。

本場に暑い中草取り、刈り入れ。刈り入れた

木ウキモロコシを8月の灼熱アスファルトに

1本1本並べ(1本体験しました)すべが大変な作業



木ウキモロコシ  
1本1本並べ

夕日に当たると、また回収するという地道なお仕事をくり返し、要となる材料が作  
されています。「よい箒を作るためには、良い材料で作ることが大切」と  
のこと。米澤さんの箒は軽くて、使いやすく、長持ちし

階段の隅のホコリをしっかりと

集めてくれます。米澤さんは、箒の

修理も快くして下さい、僕も

「1つ1つつく精進クセ」を直して頂くと

本当にびびりすぎ程 掃きやすくなります。

お家が朝のお掃除に

使っていて、静かな時分に

静かに掃除ができる、

暮らしの中になくならない

大切な道具のひとつです。



お家の隅  
をしっかりと  
掃除に  
使っていて  
静かな時  
分に  
静かに  
掃除が  
できる

お家の  
隅を  
しっかりと  
掃除に  
使っていて  
静かな  
時分に  
静かに  
掃除が  
できる

うつわ暮らしの道具  
テクラ

Instagram @tekura\_miyairi  
@tekura2013yk(私)  
@miyairiyuki(イラスト)



113cmのサイズを  
取りました。

## 蒲原屋



1946年創業の乾物専門店。20種類以上の豆、昆布、雑穀などを中心にこだわりの食材を取り扱っています。冬季はフェアトレードチョコレートなども販売しています。また、乾物に親しんでいただくために10年前から毎月メニューを変えて料理教室を開催。延べ2000人の方にご参加いただいています。清水駅前銀座商店街のアーケード内にあるので、街を散策しながらお買い物を楽しんでみてはいかがでしょうか。

[住 所] 静岡市清水区真砂町6-25  
[TEL] 054-366-4354  
[OPEN] 9:30~18:00  
[定休日] 毎週水曜・第三火曜日  
(12月は14日以降は休みなし)

[URL] <https://kanbaraya.net/>  
[SNS] Instagram: @kanbaraya.official  
Facebook: @kanbaraya.kanbutsu



## チクタク open the kitchen



「静岡おやき専門店」のチクタクです。お店は静岡市葵区丸山町にて6年間営業し、このたび池ヶ谷へ移転いたしました。看板メニューのおやきは、定番から季節限定のものを常時10種類ほどご用意しております。具材は静岡産のちりめんじゃこや手火山式の鯉節、無添加燻製ベーコンなどを使用し、身体に優しい素材や調味料を心掛けて作っております。また店舗では、カウンター席がありますのでほっと一息つきにいらしてくださいね。

[住 所] 静岡市葵区池ヶ谷5-15-103  
[TEL] 080-9494-2160  
[OPEN] Instagramをご確認下さい  
[定休日] Instagramをご確認下さい

[SNS] Instagram: @chikutaku.otk



「ココラボ設置店」より...



「KoKolab」  
Facebookページ



Instagram  
@kokolab.ie



発行人 有限会社こころ木造建築研究所  
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝

印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や  
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、  
E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は送料費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造り  
を行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通  
信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住  
宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

今年もあっという間に12月。クリスマスモードも感  
じられる時期になりました。まだまだ年内にやる事が  
たくさん残っていますが、四季の変化やイベントを楽  
しみつつ、新しい年を迎える準備をしていきたいと思  
います。今年もたくさんの方々との出会いがありました。  
みなさん共通している事は、こだわりが強いな〜  
と(良い意味で)。今回ご紹介させていただいた『出の  
家』のSさんご夫婦も強い信念を持っているお二人で、  
何気ないお話も引き込まれていきます。その話の奥に  
は今までの豊富な経験があり、積み重ねた分だけ魅力  
が増していくのだと思います。私もまだまだチャレン  
ジを重ねていき、奥行きのある建築をつくっていきたく  
いと思います。(山崎健治)



## 🏠 事務所移転のお知らせ

事務所機能を『ココラボの家@島田』の一室に引っ越します。島田事務所に引っ越して15年。当初は広いと思っていた事務所も、だんだんと資料が溢れてそろそろ限界かなど。設計図などは15年の保管が義務づけられているので、毎年段ボールが増えていきます。今までの事務所を倉庫として利用し、書類の整理整頓もしたいと思います。

『ココラボの家@島田』も9年目に入り、木の家の雰囲気も変わってきました。せ



っかくなので我々も木の家の中で仕事したいと思い、倉庫問題と合わせて引っ越しを決めました。より良い仕事環境をつくり、今まで以上に心地よい家を探求していきたいと思います。事務所移転は来年1月下旬を予定しています。お近くにきた時は気軽に立ち寄ってください。

## 木の家相談会 & 『こころばの家』オープン日

毎月 第1土・日開催

当社では、毎月第1土曜・日曜に、「木の家相談会」と「木の家常設展示場見学会」を行っています。現場見学会などで実際の建物を見ることは出来ませんが、生活をイメージしたり、ゆっくりと座って話を聞くことはなかなか難しいものです。家づくりが具体的で無い方も、またリフォームを検討している方も、まずは一歩踏み出して、実際の木の家に触れたり話を聞いてみてはいかがでしょうか？ きっと今後につながるヒントが見つかると思います。

### ◆ 木の家相談会

家づくりは何から始めたらいいの？ と相談される方が多くいますが、家族構成や敷地条件などによって様々な入り口があります。また私たちが行っている木の家は、木材をはじめとした自然素材の使い方によっても建物の性能や雰囲気が変わっていきます。木の家相談会では、経験豊富な建築士が個別相談を行い、一人一人に合った、様々な問題について相談を受け付けています。家づくりは一歩踏み出すことから始まります。この相談会を利用して気軽に何でもお訪ね下さい。

### ◆ 木の家常設展示場オープン日

『こころばの家』見学

2つの『こころばの家』は、同じ木の家ではありますが、それぞれ違ったテーマでつくられています。敷地環境や家族構成、空間のつくり方や素材の選択など、自分たちに合った暮らしを探す中で参考になればと思います。毎月第1土曜、日曜をオープン日とし、展示場を見学していただく事が出来ます。ホームページ内の申し込みフォーム、またはお電話でご予約下さい。

◆ 日時：1月13・14日(土・日)

2月3・4日(土・日)

10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家@静岡』

静岡県駿河区新川2丁目5-29 電話：054-270-7658

『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4 電話：0547-54-4556

